

インフルエンザ桿菌 b 型(Hib=ヒブ) ワクチン(製品名:アクトヒブ)

●横浜市内に居住し、接種日時点で生後2ヵ月～5歳未満の方は、ヒブワクチンが公費(無料)で接種できます。

◆乳幼児にヒブワクチンをお勧めします。

インフルエンザ桿菌 b 型(Hib=ヒブ菌)は、乳幼児に髄膜炎、敗血症、急性喉頭蓋炎などの重症感染症を引き起こします。日本では毎年 500～600 人の子どもが、ヒブ菌により細菌性髄膜炎になり、5%前後が死亡し、治っても20～30%に後遺症を認めています。ヒブ菌による髄膜炎の初期症状は発熱、嘔吐、元気が無いなど、かぜ症状と変わりなく、しかも病状は急速に進行します。早期診断・早期治療が難しいため、予防が重要で、ヒブ菌による重症感染症を防いでくれるヒブワクチンが有効です。このヒブワクチンは、先進国では既に導入されており、その有効性が認められています。

◆接種対象者

生後2ヵ月～5歳未満

◆接種スケジュール

年齢とともに自然免疫(抗体)を獲得し強くなるため、接種開始年齢により接種回数が異なります。5歳以上では自然免疫が十分なため、接種は不要です。ヒブワクチンは、三種混合との同時接種が認められています。

接種開始年齢	初回接種回数と間隔	追加接種回数
生後2ヵ月～7ヵ月未満	4～8週間の間隔で3回接種	3回目から7～13ヵ月後に1回接種
生後7ヵ月～12ヵ月未満	4～8週間の間隔で2回接種	2回目から7～13ヵ月後に1回接種
生後1歳～5歳未満	1回接種	

◆申込方法

接種を希望される方は、「[Hib ワクチン接種をご希望される方へ](#)」(pdf)をよく読み、ワクチン接種の効果、副反応などご理解の上、予約システムまたは受付窓口でお申し込み下さい。疑問点があれば、予診の際に医師にお聞き下さい。

◆接種費用

横浜市外に居住し、接種日時点が生後2ヵ月～5歳未満の方は公費(無料)

◆伝達性海綿状脳症(TSE)伝播の危険性について

ヒブワクチンは、ウシ成分(フランス産)を製造工程に使用しています。本ワクチン接種による伝達性海綿状脳症〔TSE〕伝播(でんぱ)の危険性は、理論的に極めて低いものと考えられ、現在まで諸外国において本ワクチンの接種によりTSEがヒトに伝播したとする報告はありません。以上のことから、本ワクチンによるTSE伝播の危険性は極めて低いものと考えられます。

◆下記の横浜市のヒブワクチンのホームページをご覧ください

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/hokenjo/genre/kansensyo/vacpromo/vachib.html>